

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【公開番号】特開 2008-266589 (P2008-266589A)
 【公開日】平成 20 年 11 月 6 日 (2008.11.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-044
 【出願番号】特願 2008-57576 (P2008-57576)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 9/06 (2006.01)
 C 0 8 L 23/04 (2006.01)
 C 0 8 L 23/10 (2006.01)
 C 0 8 L 21/00 (2006.01)
 B 6 0 R 13/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 9/06 C E S
 C 0 8 L 23/04
 C 0 8 L 23/10
 C 0 8 L 21/00
 B 6 0 R 13/02 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 12 月 28 日 (2010.12.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

示差走査熱量計による吸熱ピークの少なくとも 1 つが 160 以上であるポリプロピレン系樹脂 (A) 50 ~ 80 重量%と、ポリエチレン系樹脂 (B) 50 ~ 20 重量%で構成されるポリオレフィン系樹脂組成物 ((A) + (B)) を 100 重量部としたとき、熱可塑性エラストマー (C) 25 ~ 50 重量部を含有し、見かけ密度範囲が 50 ~ 100 kg / m³、ゲル分率が 45 % 以上であることを特徴とする、架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

【請求項 2】

25 % 圧縮硬さと見かけ密度の関係が下記式を満たすことを特徴とする、請求項 1 記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

25 % 圧縮硬さ (kPa) < 3.5 × 見かけ密度 (kg / m³) - 90

【請求項 3】

熱可塑性エラストマー (C) がタイプ A のデュロメータを用いて JIS K 6235 に基づいて測定した硬度が 80 度以下であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

【請求項 4】

前記熱可塑性エラストマー (C) が、エチレン - エチレン・ブチレン - エチレンブロック共重合体 (CEBC) 及び / 又はエチレンプロピレンゴム (EPM) であることを特徴とする、請求項 1 から 3 いずれかに記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体に、他素材を貼り

合わせてなる積層体。

【請求項 6】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体、もしくは請求項 5 に記載の積層体を成形して得られる成形体。

【請求項 7】

請求項 6 記載の成形体からなる自動車内装材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記の課題を解決するために、次のような手段を採用するものである。すなわち、本発明の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体は以下である。

(1) 示差走査熱量計による吸熱ピークの少なくとも 1 つが 160 以上であるポリプロピレン系樹脂 (A) $50 \sim 80$ 重量%と、ポリエチレン系樹脂 (B) $50 \sim 20$ 重量%で構成されるポリオレフィン系樹脂組成物 ((A) + (B)) を 100 重量部としたとき、熱可塑性エラストマー (C) $25 \sim 50$ 重量部を含有し、見かけ密度範囲が $50 \sim 100 \text{ kg/m}^3$ 、ゲル分率が 45% 以上であることを特徴とする、架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

(2) 25% 圧縮硬さと見かけ密度の関係が下記式を満たすことを特徴とする、前記 (1) の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

$25\% \text{ 圧縮硬さ (kPa)} < 3.5 \times \text{見かけ密度 (kg/m}^3) - 90$

(3) 熱可塑性エラストマー (C) がタイプ A のデュロメータを用いて JIS K6235 に基づいて測定した硬度が 80 度以下であることを特徴とする前記 (1) または (2) に記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

(4) 前記熱可塑性エラストマー (C) が、エチレン - エチレン・ブチレン - エチレンブロック共重合体 (CEBC) 及び / 又はエチレンプロピレンゴム (EPM) であることを特徴とする、前記 (1) から (3) のいずれかに記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体。

(5) 前記 (1) から (4) のいずれかに記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体に、他素材を貼り合わせてなる積層体。

(6) 前記 (1) から (4) のいずれかに記載の架橋ポリオレフィン系樹脂発泡体、もしくは前記 (5) 記載の積層体を成形して得られる成形体。

(7) 前記 (6) 記載の成形体からなる自動車内装材。